



永遠でなきゆゑ励むヒヤシンス 葦を焼く予備日の予備日その予備日 天へ天へと初風の意志の糸 古文書のやうな日差しよ春隣 鷹動かざる鳩になる日を想ひ 染み染みと雪は戦ふものなりし お変わりもなくると言はれ枯るる中 凍裂の音か木霊の長ひびき 黙といふ詩境にあそび梅真白 春隣 螺 鈿 光 りの 貝 の 裏 弾かれてからの勝負や喧嘩独楽 期待てふ明るき不安花ミモザ どこまでが岸どこまでも寂結氷湖 声掛けて奪ふ産みたて寒卵 正論の強さ危ふさ冬薔薇	荒井千佐代 内山 花葉 田所 節子 辻 美奈子 千田 百里 池田 崇 小山田子鬼 岡部 玄治 千田 敬 細川 洋子 能美昌二郎 栗原 公子 大沢美智子 石田 静 平松うさぎ
まだ籠るいつまで籠る梅白し 生きものの全てに一つ初日の出 亀甲に田の罅割れて寒明くる 雨は母風は父なり柳の芽 山脈は神の深彫り初茜 田螺和戦後と言ふは一時代 月曜の肌に冷たき腕時計 ひたむきといふ言葉こそ寒椿 身に心棒通すごとくに寒の水 冴返る風の構図のアーチ橋 ペダル漕ぐ吾子立春の風となる 春遅しホルンの管の遠回り 冬晴や樺大樹の肺呼吸 银杏枯る千手観音立つやうに 雲のかたち生くものに見え春隣	小倉 征子 中村 重幸 大橋 松枝 本池美佐子 須賀ゆかり 齊藤 實 神山 節子 磯貝 尚孝 川高郷之助 小川 流子 五十畑悦雄 関 妙子 浜田はるみ 澤田 英紀 河寄 祐二

沖 の 水 脈

